

石川県剣連だより 剣風春秋

第47号

発行一



一般財団法人
石川県剣道連盟

〒920-0811
金沢市小坂町西57-3 KSハイツ205号室
TEL 076-253-0310 FAX 076-253-0341
E-mail:ishikawa-kendo@iaa.itkeeper.ne.jp
URL www://ishikawa-kendo.com

剣道普及への道のり



副会長
田上 雅治
(小松市剣道協会会長)

一 剣道との出会い

私は輪島市小田屋町に生まれ育ちました。剣道を始めて56年になります。小学五年時に地元で剣道教室が開設され、見学に行き興味を持ったことが始まりです。

中山勝雄・川口大石両先生に小中学校と基礎から指導を受け、両先生のご指導のお蔭で剣道が好きになりました。

輪島高校に進学後、剣道部に入部し稽古に励みました。三年時に県高校剣道大会で団体三位に入賞、北信越高校剣道大会に出場したことが幸いし、剣道の道を歩むきっかけとなりました。

進路について教頭で顧問の山正富先生に相談、先生は戦前の国士館専門学校剣道部を卒業され、先生の退職と私の卒業が同年となりました。最後の教え子ということもあり国士館大学剣道部への進学を強く勧められ、剣道指導者を目指すこととなりました。

二 剣道部顧問として

昭和55年4月、小松市立芦城中学校に異動となり剣道部顧問になりました。当時は生徒数増加の時代ゆえ女子部を復活させてもらいました。新入部員は男女で21名入部してきました。少年剣道教室出身者は、2〜3名で初心者が大半より指導内容は基礎基本、打ち込み稽古が主となりましたが、二年時秋の昇段審査で初段全員合格を目標に取り組みました。

取得後は、三年時に市中学校剣

特集記事

2頁「コロナに負けない！
剣連行事・稽古再開に向けて」
4頁「郡市剣連紹介コーナー」
能美郡市剣道連盟
小松市剣道協会

道大会優勝、県中学剣道大会で入賞、北信越中学剣道大会出場を新たな目標とし、自主性を引き出す指導に心掛けました。
卒業時には「中学生としての基本技能が、十分付いているので稽古を積みば更に強くなれる」と奨励し送り出しました。

三 剣道人口減少対策

平成八年頃から少子化による生徒減で中学校の統合が進み学校数が激減しました。残念なことに統合により剣道部がなくなった学校もあります。

県下の剣道人口維持には、

① 剣道部のない中学校に進学した少年剣道出身生徒には、受け皿が必要であり、指導者より高校剣道につなげる奨励をお願いします。

② 一般女性の剣道人口は着実に増え

ています。昇段審査に挑戦し、誇りをもって高みを目指し稽古に励んでください。

③ 一般の稽古中断者が稽古を再開できる受け皿が必要です。

小松市剣道協会では『錬精会』という稽古会があります。発足は昭和58年4月です。38年間稽古を継続しています。

当時、少年剣道教室『剣正会』の指導者牛島英二先生が保護者に「子どもの稽古を見ているだけでは退屈でしょうから素振りでもしてみませんか」の声掛けが始まりました。指導者は、北野圭二先生が長年指導されました。現在会員は19名(男性14名・女性5名)、稽古は月曜日夜七時〜九時です。前会長辰巳明伸教士七段は二十年稽古中断後再開、現会長河合峰嘉教士七段は十五年稽古中断後再開しています。剣道再開者の受け皿にもなっています。

終わりに、少子化、過疎化が進んでいます。剣道人口の維持を目指し、各界はじめ会員各位の普及活動へのご理解、お力添えをお願いいたします。

特集

コロナに負けない！
剣連行事・稽古再開に向けて

居合道委員会

作田 剛也

一 はじめに

令和2年度居合道段位審査会が、8月2日(日) 県立武道館で開催されました。

二 新型コロナウイルス感染症

まずは、全世界で新型コロナウイルスの感染拡大が進む中、日々医療の最前線で患者さんの治療に尽力されている医療従事者の皆様に、心から敬意を表し、御礼を申し上げます。



げます。

この度の新型コロナウイルスは、世界中で大きな問題を引き起こし、その影響から、我が国においても各種武道、スポーツをはじめ、あらゆる行事の開催が見送られ、当連盟も同様に、各種大会・行事が見送りととなりました。居合道では、級位審査会が延期、県大会は中止、そして何より、十月に金沢市で開催予定でありました全日本居合道大会石川大会が中止となりました。

三 稽古場所の確保

不要不急の外出の制限、ステイホーム、自宅待機、在宅ワークの拡がり。県内各教場においては、コロナ禍による各種施設の使用中止・入場制限等により稽古場所の確保にも困難を要する中、居合道部では、施設の使用制限を遵守しながら、稽古場所の確保のため、月の金の県武における稽古会場を開放、受審予定者も可能な範囲で稽古に参加し、高段者の指導を受け、審査に備えました。

四 居合道段位審査会

当連盟の行事再開に向けては、



全剣連発出の各種ガイドラインを参考に、行政庁・監督官庁・体育施設と連携。安全・安心な状況下で実施出来るよう、入館の際には検温・手指消毒・体調の確認、人数制限・規模縮小・無観客開催・密を回避する方策などが検討され、連盟行事再開の先陣を切る形で、居合道段位審査会・級位審査会が実施される事となりました。

審査会は、新型コロナウイルス感染症予防及び拡大防止の観点から、県立武道館及び剣道場の入口には消毒液が配置され、受審者、審査員・係員・観覧者も検温、体温を確認。手指消毒を徹底しての

入館、入場。審査に先駆け例年実施の講習会・稽古会の開催は中止。審査中、審査待機中もマスクを着用。南会長の指導の下、受審者は勿論、審査員席に至るまで、ソーシャルディスタンス確保を徹底し実施されました。

五 合格者

新しい生活様式、3密の回避、多人数の会合への参加禁止等々の問題もあり、例年に比し受審者は若干少なく、また、稽古不十分で涙を飲む受審者もありましたが、高齢の受審者も多く、下は中学生から、上は初段の79歳中宮紀美子さん(内灘)まで、幅広い合格者がありました。

ご存知の通り、剣道・居合道は、老若男女を問わず長く稽古が続けられる生涯武道ではありますが、特に初心の方にとって、そのハードルは決して低いものではありません。

今回の結果は、初心の方や、リバ剣を躊躇される方々にとっても、居合道の特性による可能性、新たな魅力の発見、稽古に参加するためのきっかけ、剣道・居合道の裾野拡大、県連の会員拡充等、明日に繋がる結果だったのではないのでしょうか。

▽初段

ビットマンティーモ、浅井由真、
白田茂樹、沖津二郎、
プーレエスファンディアリファルシッド、
四十万谷正久、加藤光久、
大島卓晃、中宮紀美子

▽二段

野村風沙、菅田匠

▽三段

成田大夢、中西比古、澤田隆仁、
浅井宣夫

▽四段

長谷川祐美、濱井勇介、大杉豪

六 稽古日程・活動場所

居合道部では現在、月曜…県立武道館と森本、火曜…安原公民館、水曜…内灘町武道館、養浩館、森本、木曜…小松市武道館、金曜…県立武道館、土曜…小松市武道館と養浩館の各教場で稽古に励んでおり、稽古機会の拡大やレベルアップのため、一部教場では出稽古も可としております。興味を持たれた方、先ずはお気軽に見学からどうぞ。尚、見学確認、出稽古受入の有無等は各教場に一度確認をお願いします。

また、これまで全日本大会開催に向け実施して来た月4回の強化

稽古に代わり、月2回の合同稽古を日曜に実施。不定期ではあります。外部講師招聘稽古も実施しております。

七 おわりに

全日本大会開催に向けては、県連役員、会員の皆様方に、ご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。開催中止はともな残念な結果であり、コロナ禍の中、まだまだ各種制約、制限がありますが、居合道会員一同、コロナに負けないように、切磋琢磨し、更なる高見を目指して今後も精進、努力して参ります。今後ともご指導、ご鞭撻を申し上げます。



杖道講習会・段位審査会報告
杖道委員会

11月8日(日)、石川・富山両県合同の杖道講習会・段位審査会が白山市啓武館で行われました。



午前中の講習会には、両県から30名の講習生が地元講師の講義・実技指導に真剣に取り組みました。午後から行われました段位審査会(初段〜三段)には、14名が挑戦しました。石川県関係分の合格者は次のとおりです。

▽初段

ビットマンティーモ
野崎美穂子、福田太郎
四十万谷正久
▽三段
南川正樹



特集

郡市剣道連盟

紹介コーナー

今回は、コロナ禍のもと創意と工夫を凝らし、会員が一丸となり活動を続けている加賀地区2つの郡市剣道連盟の取組を紹介します。

能美郡市剣道連盟

会長 東 純一

平素から能美郡市剣道連盟の活動に格別のご高配をいただき、厚くお礼申し上げます。

本連盟では、本年は、各郡市連盟と同様、新型コロナウイルス感染症にかかる対応で、3月の総会は何とか開催できましたが、これまで月1回開催で競技普及と競技力向上を目的とした「ジュニア・一般合同稽古会」をはじめ、年間事業として計画したほとんどが休止を余儀なくされました。

そのような中、6月には、コロナ禍の状況等を見定めた上で、会員に対し全剣連・県剣連から示されたガイドラインを伝達する「コロナ対応・対人稽古の講習会」と7月下旬には、管下の「級位審査会」

を開催し、併せて、「受審者（中学生）に対する講習会」や1級合格者には、「初段取得に向けた講習会」を開催いたしました。

また、9月には中学生大会の運営指針なども示されて、大会時間が半日や無観客など、極めて制限された中ではありましたが、「郡市中学生新人大会」が開催され（試合状況はネット配信）、連盟では、事前に「審判講習会」を行って対応したところです。



現在は、国難と言われるコロナ感染も先行きが見通せず、新しい生活様式での剣道の取組み方も不透明ですが、連盟においては、あと半期となった令和2年度や、次年度以降においても、事業の運営等を工夫し知恵を絞って、会員相互の融和を図ることを一番に、剣道の普及発展に向けて、一層の力を尽くして参りたいと考えております。

小松市剣道協会

事務局長 辰巳 明伸

道場入口の協会行事ボードに活動予定を記入していますが、改めて見直すと中止や延期の赤字が並んでいて、誠に寂しい限りでした。そのような新型コロナウイルスの感染予防の為に活動自粛が続く中、ようやく7月18日になって実施できたのが「小松市剣道特別演武大会」です。

この大会は、自粛による中止の為、日頃の稽古の成果を発揮出来ないまま引退する中学と高校の3年生に、悔いが残らないように次へ進ませてあげたいと、藤井勝司実行委員長の熱く強い思いによって実施できた大会です。



- 内容は、
- ① 木刀による剣道基本技稽古法
 - ② 竹刀による素振り演武
 - ③ 竹刀による空間基本打突演武
 - ④ 竹刀による空間自由演武です。

紅白に分かれた選手が4つの演武を行い、5名の審査員がそれぞれ、「基本姿勢及び動作」が3点、「剣道の技量」が3点、「演武の創造性」が4点の合計10点満点にて採点する方式で行いました。

3密に配慮し、選手の家族の中で1人だけの参加を許された保護者、中学校下級生達（今回は高校生の参加者はありませんでした）をはじめ、来賓としてご臨席頂いた名誉大会長和田慎司小松市長や大会役員らが見守る中、マスクをして無発声で、且つ、紅白交互に選手1人だけが行う演武は、選手の息遣いや袴の擦れる音、竹刀が空気を割く音や床を踏み込む足音等が、緊張と静寂に包まれた武道館に浸み込むように伝わり、何とも言えず厳粛な雰囲気でした。

閉会式では、岩脇司審査委員長（教士八段・南部中学校長）が講評の中で、これからの剣道人生がさらに実り多いものになるようにと願って、参加選手一人一人に「贈る言葉」を述べました。

また選手は、それぞれが行った演武の感想や、これまで厳しくも温かく見守ってくれた親や先生方に、また共に切磋琢磨して励んだ仲間達に感謝の言葉を述べました。

今回の演武大会は、引退する生徒の為に行われた大会でしたが、我々協会にとっても改めて武道の良さ、中でも剣道の良さを再認識できた大会になりました。

今後とも、この剣道の素晴らしさを伝えていきたいと、協会員一同強く思わせて頂きました。ありがとうございます。



高等学校における

取組と工夫

コロナ禍で十分な稽古ができないピンチをチャンスと捉え、遊びを通して感覚統合の引出しに取り組み元気あふれる高等学校を紹介します。

「アスレチックあそび

in TsuBatJal

障害物で遊びながら学ぶ

津幡高校剣道部顧問 久保 洗旗

一 きっかけ

本校に勤務して、8年が経とうとしています。毎日、部員たちから新鮮な気づきをもらい、学ぶエネルギーが湧いています。ここ最近の気づきは「感覚のズレ」です。私と部員とのズレではなく、部員自身の中にある「感覚のズレ」です。例えば、部員は「先輩部分で面布団の中心を打った」と言いますが、しかし、現実には「先輩部分で面金を打っています。このような「自身自身の感覚」と「現実」とのズレを修正しようと様々な介入をしましたが、成果が生まれませんでした。

そこで、理学療法士やトレーナー

が集まる勉強会に参加し、情報を集めました。すでにご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、「子どもたちの体力運動能力の低下（現代の9〜10歳は25年前の5歳児と同様な運動発達段階）」、「中枢神経からの発達のピラミッド」、「身につけておきたい36の基本動作」等、多くの知識、貴重な経験を学ぶことで、部員たちの「前庭覚や視覚等を中心に刺激を入れ、感覚統合を促す」という結論に至りました。簡単に申し上げますと「感覚を

良くして、剣道の上達速度を加速させる」ということです。指導者の助言を理解し、自ら考え工夫した練習を行い、剣道が上達して欲しいと願い、実践に移しました。

二 目的

部員は遊びを通して、指導者が意図的に配置した障害物に導かれ、多種多様な動きを学び、身に付けます。

三 方法

- ① スタートとゴール地点を設定
- ② 障害物を意図的に配置
- ③ 具体的な指示はせず、禁止事項



を指示（この棒には当たってはいいけない、ここから落ちてはいけない等）

④ 障害物を自由な方法で克服し、ゴールを目指す

【使用用具】

・平均台、ベンチ、跳び箱、マット、机、コーン、バランスディスク等

四 指導の留意点

「身につけておきたい36の基本動作」の中から、数種類の動きを引き出すために障害物を配置しました。「遊び」であるため、部員の好奇心や探索心に基づいて自発的に行われる必要があります。そこで、

- ・師範を示さない
- ・方法を細かく説明しない
- ・それゆえ、
- ・この棒には当たってはいいけない
- ・ここから落ちてはいけない等
- ・最低限の説明に留めました。
- ・さらに、
- ・この棒に当たったら感電する
- ・これに触れたら爆弾が爆発する
- ・落ちたらワニに食べられる
- ・「スパイ」や「怪盗キッド」になった気分
- ・ゴールを目指す等、場面を設定し、より楽しんで集中できる環境を作りました。

最終的には、部員が考えて障害物を配置し、教えずに部員が自己と向き合える環境になるよう留意に努めました。

五 成果

・各部員の学び方を観察することができました。（障害物を配置した

いと申し出る部員、障害物の配置を自ら考えられない部員等）とても楽しんでくれた。（1回目の出来事です。1時間程行い、終了予定時刻が迫っていたため、「あと1人何回したい？」と質問したところ、部員は顔を見合わせて、「何回でもしたいです。」と答えました。「何回でもって、100回でもいいのか?」「はい。」結局、40分延長しました。）

・障害物の克服方法を教え合ったり、できる部員を観察したりと自発的な学びを観察することができました。

・障害物を克服する達成感や喜びを感じ、またそのように感じたいと真剣に取り組んでいたように感じます。

・部員全員の上達を観察できた。（「キャッチボール」を行いながら、障害物を克服することに挑戦し、ある程度達成できた）

六 その他

本校ホームページには、剣道部の活動を掲載しております。ぜひ、ホームページをご覧ください。

なお、この遊びは、「NPO法人クラブぽつとクラブマネージャー 森

亮太氏」より助言を頂き、実践しました。

七 謝辞

この度は県剣連だより「剣風春秋」に掲載する機会を与えてくださり、心から感謝申し上げます。石川県の剣士全員の競技力向上を心より願っております。

勉強不足であるにも関わらず、掲載しておりますゆえ、何卒ご指摘・ご意見・ご質問等をご教示頂ければ幸いに存じます。よろしくお願いいたします。



剣道七段に合格して



羽昨市

岡田 浩之

私は、剣道をしていた祖父の勧めで小学校4年から剣道を始めました。高校、大学と進学するたびにもう剣道はしないと決めていたのですが、なぜか竹刀の音を聞くと懐かしくなり、5月の連休が終わる頃には剣道を続けていました。

社会人になり実家の家業を継ぐために帰郷しました。

平成6年、羽昨市民体育大会の剣道競技中に左足アキレス腱が断裂しました。苦しい入院生活を送り、これで私の剣道も終わりだと思っていました。

平成10年ソフトボールの試合中に今度は右足が切れ、元々切れる運命だったと思いきや、翌年長男が小学校入学時に剣道を始めると、親子共々自宅近くの千里浜剣道教室に入門しました。また、2つ下の妹も剣道を始めましたので二人の追っかけ生活の始まりです。

子供たちの高校時代は、当時の羽昨高校監督 田畑武志先生に同行し、全国の強豪校への遠征に連れて

行ってもらいました。指導の先生も、生徒も大変な努力をしている姿に改めて感動しました。

自身の昇段については、四段は何か通ったのですが、五段で二回不合格となり、三回目の挑戦で昇段できました。このときの剣道に対する気持ちや以後の昇段につながったと思います。

五段を落ち続けたとき、押水武道館の夜の稽古で田畑武正先生に貴重なアドバイス頂きました。特に、剣道形が全く解っていなかった私に中越顕治先生から理合等細かく指導をして頂きました。

六段受審の前には、幾度も羽昨市武道館での木練会の始まり30分前時間を取って頂き、中村康徳・近藤繁彦両先生から共に受審する北江克伸先生との立会を指導して頂きました。

七段審査につきましては、恥ずかしながら、無我夢中で何も覚えていません。今回、コロナ禍で観客入場禁止となり、六段時のようにビデオ撮影ができなかったのが確認しようもありません。ただ、観客席で見ていると、小手・胴を打つ受審者が多いことに驚きました。昇段審査は面と決めていた私の間違いでしょうか？実際、面しか打たなかった気がします。

稽古は、2年前まで木練会、火曜日夜の宝達志水武道館、越路野少年剣道教室と週3回稽古をしていましたが、仕事の都合で最近宝達志水武道館に絞って稽古をしました。ほぼ、北川信之先生、山本重之先生との3人での稽古です。

3人で稽古するということは、2人の稽古姿を研究できるということだと思います。間合いの取り方、打ち出すタイミング、出鼻の取り方、応じ技、打てない相手をいかに打つか等勉強させて頂きました。

今回、ご指導頂きました多くの先生方のおかげで合格できたものと感謝しております。七段という重責に恥じぬよう日頃の稽古に精進したいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。

剣道六段に合格して



かほく市

田島 正人

11月15日、愛知審査会で合格させて頂きました。普段、ご指導を頂いている県剣連、かほく市剣道協会、宝達志水町武道館の諸先生及

び多くの仲間、深く感謝申し上げます。土、日の稽古目標の一つとして「六十歳で剣道六段」を掲げてきましたので、大変うれしく思います。

今回の審査会では、諸先生から頂いた「平常心」という言葉と審査会を「楽しむ」という二つを目標に掲げ臨みました。

「平常心」では、今の私の實力はどの辺にあるのか審査の先生方に見て頂きたい、足らざるは素直に反省し、次へ繋げていきたいという気持ちで臨みました。特に、審査でこれを意識したというところはありませんが、普段、宝達志水町の田畑武正先生からご指導頂いている「足から動き始め、最後に手が動き面金に沿って打つ」ということが、未熟ながら今の實力のまま出せればいいなと思っておりました。

「楽しむ」では、これもまだまだ未熟ではありますが、相手の方と気を高め合うことを楽しもうと思っていました。

当然、初めての相手なので、今までに感じたことのない個性を感じる事ができるか、蹲踞から立ち上がつてすぐに、一人ひとりの個性の違いを感じ取り、さらに、剣先が交

わるところ、一足二刀までに詰めていく間にどれだけお相手の個性に応じた気の高め合いがきるか、これを楽しむぞ、という気持ちで審査に臨んできました。

居合道六段に合格して



小松市 二木 有紀江

8月30日、京都審査会で居合道六段に合格させていただきました。これまでご指導いただきました諸先生方、仲間、家族に心からお礼申し上げます。

十六年前、土井輝男先生が指導される小松居合道教室で居合道を始めました。

「無駄な力を抜く」「敵を見て、何処を切るのか意識する」「敵と丈比べをする気持ちで背筋・首筋を伸ばす」「居合は心。敵に追われず余裕を持つて制する」等々、なかなかできない私に、根気強く繰り返しご指導いただけることに感謝しております。

また、本県で開催予定でありました全日本居合道大会に向けての強化

稽古に参加させていただきました。

中村正人先生より「確実な鞘引きと鋭い抜き付け、抜き打ち」「無駄のない切り下ろし」、「情念の血振るい」「途切れることのない気迫」等ご指導いただきました。自信を持つことができず、不安で逃げ出したい気持ちになることがありました。そんな弱い心と多くの課題を克服するためにも、一つ一つ動作を確認しながら、工夫して身に付けるような一人稽古の時間を少しでも持つようにしました。結果として新型コロナウイルスの影響で大会は中止になりましたが、大変貴重な機会を与えていただき、重ねてお礼申し上げます。

その後も、引き続き合同稽古に参加させていただきました。八月に異例の六段審査会が行われると分かってからは、審査会に向かってご指導いただきました。真夏に向かって気温が高くなる中で、マスクをして全日本剣道連盟制定居合六本を集中して行うことが非常に息苦しく、困難に感じました。しかし、苦しいのは自分だけではない、皆同じ想いをしているのだと知り、稽古を続けることができました。

審査会本番では、嚴重な感染防

止対策がなされている会場の雰囲気です。緊張しましたが、自分の稽古してきたことを全て見ていただこうと覚悟を決めて挑みました。

合格できたのは、私一人の力では決してあり得ないことです。まだまだ未熟ですので、今後は本当の六段の実力を身に付けるよう努力したいと思えます。更なるご指導をいただきますようお願い申し上げます。そして、多くの方が審査に合格されますようお願い申し上げます。

中央審査会合格者

◇剣道

▽七段 岡田 浩之
▽六段 松原 裕樹 齊藤 政広
川上 寛 中谷 竜
田島 正人

▽教士 室谷 智代 篠井 誠史
米山 友博 中 剛
角田 肇 中 明美

▽錬士 泉 浩幸 山辺 哲夫
原田 竜郎 笠森 太郎
森 尊史 向井 守男

▽居合道 堀内 宏子 鵜城 神太郎
中村 直紀 南 智昭
篠井 康昭

◇居合道

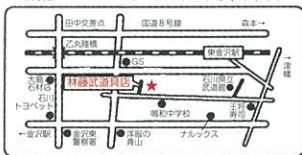
▽六段 二木 有紀江 高柳 陽一
▽錬士 角 紀一郎

林藤武道具店

〒920-0803 石川県金沢市神宮寺町1番地83
Tel.076-252-2220 Fax.076-252-2240
HP <http://www.rindoubudougu.jp/>
E-mail:budou@chive.ocn.ne.jp

●定休日/月曜日

【営業品目】
剣道・柔道・空手・なぎなた・武道具全般
(刺繍・ゼッケン・ネームプリントも承ります)



武道具の
ハシモト

金沢市上荒屋7丁目67 TEL 249-8233
〒921-8065 FAX 249-9139